

## 金沢区福浦地区の護岸の復旧について ～復旧方針をとりまとめました～

令和元年台風 15 号による高波により被災した護岸の復旧について、本日、開催した第 2 回横浜港護岸復旧工法検討会で議論し、福浦地区の護岸復旧方針をとりまとめたため、お知らせします。

詳細は次頁をご覧ください。

### <参考：第 2 回検討会の概要>

日 時：令和元年 11 月 26 日（火）10 時～11 時 15 分

場 所：産業貿易センタービル 6 階 横浜市港湾局第一会議室

委 員：別紙のとおり

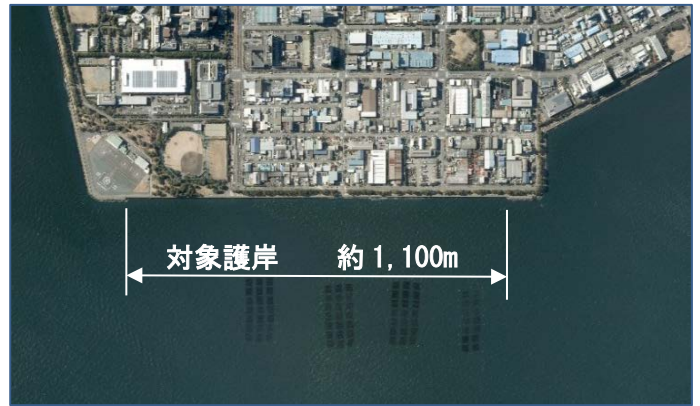
- 内 容：1 本日の検討対象  
2 国の高波対策検討委員会（第 2 回）の主なポイント  
3 福浦地区の復旧方針  
4 今後の検討事項

その他：検討会の資料については、横浜市のホームページに掲載しています。

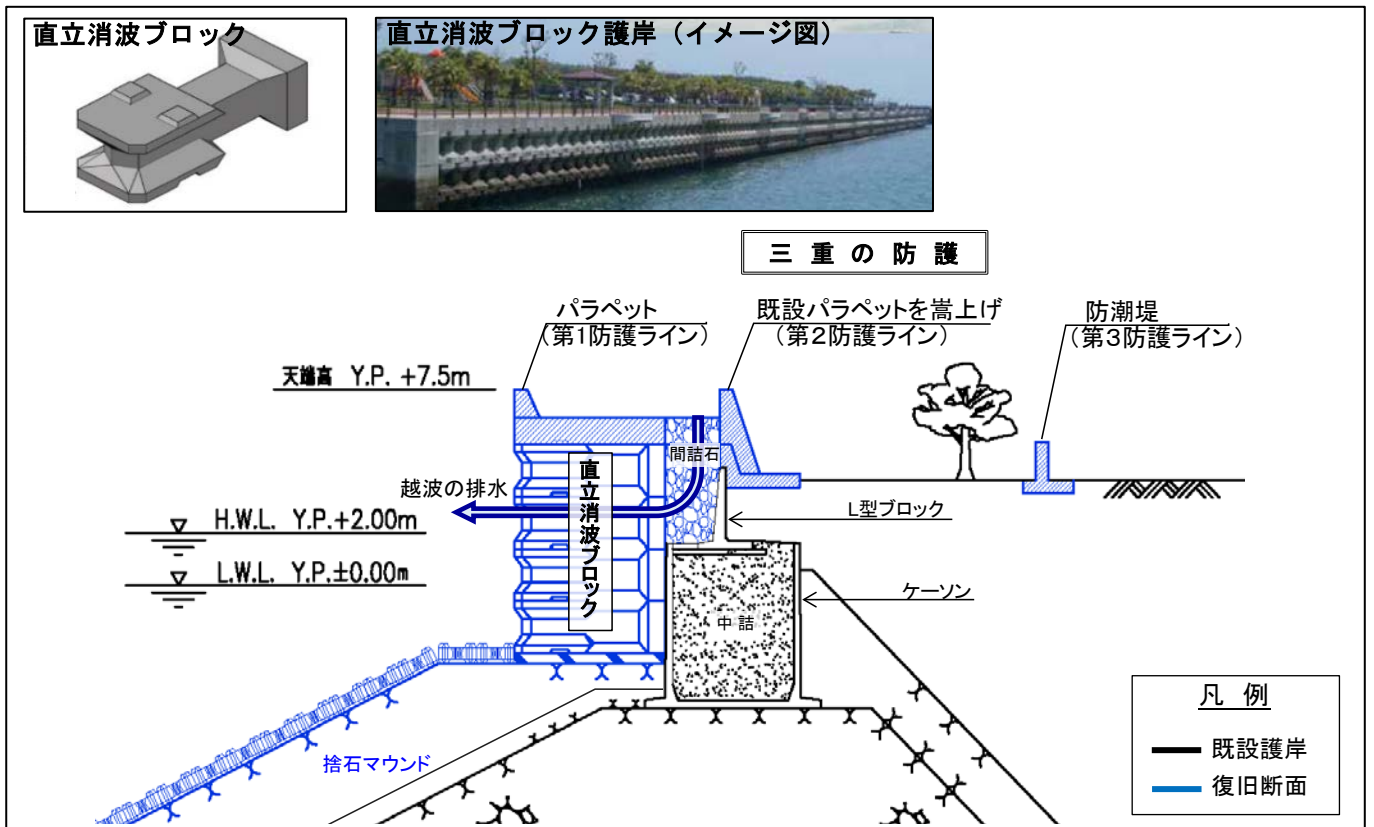
<https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/yokohamashi/yokohamako/kkihon/kikikanri/gogankentoukai.html>

お問合わせ先		
港湾局政策調整課長	成田 公誠	Tel 045-671-2877

# 1. 対象位置



# 2. 復旧断面



# 3. 主な特徴等

- ・ 既設護岸前面に直立消波ブロックとパラペットを設置し、考え得る最大級の高波を防護します。(第1防護ライン)
- ・ 既設護岸のパラペットを嵩上げし、波しぶきを防護し排水します。(第2防護ライン)
- ・ 台風19号による浸水を食い止めた実績を踏まえ、緑地の道路側に防潮堤を設置します。(第3防護ライン)
- ・ 令和2年の台風シーズン前までに直立消波ブロック設置、既設パラペットの嵩上げ等を概成できるよう取り組みます。
- ・ 本牧等その他の地区についても、福浦地区の設計波算定の検討方法を踏まえ、復旧対応を進めていきます。

## 「横浜港護岸復旧工法検討会」

## 委員構成

(敬称略)

	氏名	所属
委員長	鈴木 崇之	横浜国立大学大学院 都市イノベーション研究院 准教授
委員	鈴木 高二朗	(国研)海上・港湾・航空技術研究所 海洋研究領域 耐波研究グループ長
〃	加藤 絵万	(国研)海上・港湾・航空技術研究所 構造研究領域 構造研究グループ長
〃	本多 和彦	国土交通省 国土技術政策総合研究所 沿岸海洋・防災研究部 沿岸防災研究室 主任研究官
〃	浅見 尚史	国土交通省 港湾局 海岸・防災課 海岸・防災企画官
〃	森 信哉	国土交通省 関東地方整備局 港湾空港部長
〃	野口 孝俊	国土交通省 関東地方整備局 横浜港湾空港技術調査事務所長
〃	新保 康裕	横浜市 港湾局 政策調整部 担当部長
〃	河村 義秀	横浜市 港湾局 港湾管財部長
〃	厨川 研二	横浜市 港湾局 建設保全部長